

かおす道柔

平成18年3月 静岡県柔道協会発行

事務局 〒431-0302 静岡県浜名郡新居町新居3035-6 石黒金次
TEL・FAX (053) 594-2403

【巻頭言】

指導者のつとめ

——柔らかな心を育てる

静岡県柔道協会副会長 七段 山崎陸雄

新年あけましておめでとうございませう。役員の皆様方すばらしい新年を迎えた事と思います。平成17年をふり返りますと、愛知万博、野口さんの宇宙旅行、柔道では、講道館杯女子中村選手「16才」の優勝、福岡国際女子選手権の全階級優勝と明るい話題と共に、県内では近畿東海柔道フェスタ、内柴、棟田、薪谷、松崎選手（メダリスト）を迎えての開催、会場では、子供達の生き生きとした姿が見られ、非常にうれしく思いました。また反面、福岡、宮城の地震、台風による水害等、自然災害の発生と、学校関係者、地域、社会、保護者、我々柔道指導者に大きな衝撃を与えた広島、栃木等の小学生殺害、高校生の殺人と多くの悲しい出来事が続きました。本年こそは、平和で明るい社会になることを願わずにはいられません。



宮本武蔵頭彰武蔵体育館前にて

昨年秋の岡山国体に総監督として現地におり、成年男・女の試合が終り、少年剣道大会を見学する機会を得ました。美作市

の選手が整然とし私語などなく相手の話を直立で聞いている横で柔道の選手は、横を見たり落着きがなく無駄話をしていない。

にある刀の鐔を形取った屋根をした宮本武蔵頭彰武蔵体育館で行なわれたその試合は、大変静粛な中で行なわれていました。選手は皆正座で試合を見守り、技が決まると観客、応援の選手とも大きな拍手と声援を送りますが、試合が再開すると会場は水を打ったように静まり返ります。これが剣道の特性かなとも考えますが、それにしても柔道少年大会に於ける会場の騒々しさとの違いに感心いたしました。毎年、引佐柔剣道大会の開会式で目にするのは、剣道の選手の礼儀作法の素晴らしいこと、悲しいかな柔道選手の嘆かわしい姿があります。剣道の選手が整然とし私語などなく相手の話を直立で聞いている横で柔道の選手は、横を見たり落着きがなく無駄話をしていない。

その様子を「躰が違いますから」と剣道の先生に言われ、恥ずかしい思いをした事もありました。勝って浮れず、負けて涙を流し、互を認めあい、相手の気持、立場を思いやる精神の修業こそが少年大会の意義であると思えます。時に監督、コーチが終始、選手に大声で指示を出し、更にはそれに父兄が同調する光景も見られますが、親の背を見て子は育つ、と言われます。指導者として常に子供達に見られている事を意識していたいものです。私も地元少年柔道クラブの指導にあたり、元気盛りの子供達を相手に、履物の整理整頓から始まってクラブ員同志、指導者に対するあいさつの仕方、練習終了後の清掃（ホーキの使い方、掃き方）の指導と、時には叱り「今日の履物は気持ちいいよ」と褒め、を繰り返しの毎日でした。悪い時には怒るのではなく叱つてやり、良い時には認めて褒めることが大切です。

「精力善用、自他共栄」の精神に基づき、柔道を通して規律、礼儀作法をきちんと指導し、相手の立場が理解できる柔らかな心を備えた子供達の育成にお互に努めようではありませんか。

成年男女、上位進出ならず!!

岡山国体に出場した成年男女の静岡県チームは大いに健闘したが、残念ながら上位進出はできなかった。今年こそは少年の男女を含め東海地区予選を勝ち抜き、全種別全国大会に出場し上位進出を果たしてほしいものだ。国体の報告を以下掲載する。

「晴れの国おかやま国体」に参加して

トレーナー 伊藤 武 治

第60回国民体育大会が岡山県津山市で開催され、山崎総監督はじめ野田総務、伊藤トレーナー、米山男子監督、渡辺女子監督、選手8人の総勢13人で参加しました。会場の津山東体育館は津山東高校に隣接する市の体育館のため狭く、試合場が二面設置されていました。至る所に国体開催のための仮設物が設置されていました。そのため日程も1日目が少年男子、2日目が少年成年女子、3日目が成年男子二回戦まで、4日目が成年男子決勝・閉会式と例年より一日長く開催されました。簡素化を進めているために開始式では入場行進もなく挨拶のみの簡単なものとなり、公開演技も全体で二回のみでやや寂しい感じがしましたが、参加をする者としては試合に集中できると思います。テントでも飲み物の接待だけで、選手・監督テントのみお汁が出

されていきました。経費節減傾向が至る所に現れてきており、本来の試合中心に戻るような思いがしました。宿舎は男子が登録有形文化財のあけぼの旅館と趣があり料理のおいしい宿舎で、女子は民宿で大変良くもてなしを受けました。市民全体で大会を盛り上げるように協力し助け合っている姿が多く見受けられました。

試合結果としては、男子が二回戦負け、女子が一回戦負け。組合せの不運があったりして十分な結果が出ませんでした。選手ひとりひとり自分の持てる力を発揮して試合をしたと思います。今回の試合が次のステップになればと期待したい。少年男女を含め全種別が出場できるよう、今後の強化等に多くの課題が見つかりました。静岡柔道の発展のために今後とも努力していきたいと思えます。

トならず「教育的指導」「指導」、体落し・背負いと技を出す効果がなし「引分け」。

中堅 大村恭一(静岡県警察) 自分のペースで試合運び組際の巴投げで「有効」優勢勝ち。

副将 小椋俊彦(静岡県警察) 体重差50kgもある相手に技を掛けるも効果なし中盤頸を痛めるも「引分け」。

大将 齊藤和仁(静岡県警察) 大外刈り・内股と技を掛けるもポイントならず「引分け」。

二回戦 静岡0-3福岡
先鋒 小内刈・巴とお互いの技を掛け合うも効果ポイントなく「引分け」。

次鋒 お互い「教育的指導」技を掛け合い大外刈りにいったところ大外返りで「有効」、攻撃するも守られて負け。

中堅 組み手争いからお互いの技を掛けるも効果なし、「教育的指導」から「注意」までいき、技がないまま「引分け」。

副将 一回戦での負傷で出場が危ぶまれたが痛みをこらえて出場したが大外刈を受け「一本負け」。

大将 お互いがつぶり四つに組んで技を掛けるが効果なし、場外際押し込んだところ内股に入られ「有効」そのまま時間切れで負け。

女子 一回戦 静岡0-2兵庫

先鋒 望月加奈子(常葉学園極高教員) 組み手争いからお互いの技を掛け合うポイントまで届かない。中盤、組際

の大内で相手が尻から落ち、主審の

「有効」も両副審に取り消され、最後まで攻めるが「引分け」。

中堅 杉山まゆ美(東海大学) 相手の技を警戒しながらも技を掛けるが効果なし、支え釣込み足で崩されそのまま崩上四方固に入られ「一本負け」、自分の技が十分出せず残念であった。

大将 岡田紘味(三井住友海上) 組み手争いから技を掛けるが決まらず一瞬の隙をつかれ背負投で「有効」を取られる。技を掛けるも効果なし、中盤世界選手権優勝当時を思い出させる背負投で「一本負け」、ジュニアチャンピオンも世界の實力を痛感した試合になった。

岡山女子団体の準決勝で当り1対3で負けているためリベンジをかけた試合であったが、来年の開催県で強化が進んでいることもあり、自分たちの流れがつかれないまま試合が終わってしまった感じがする。今後の奮起に期待したい。



岡山国体静岡県チーム

男子 一回戦 静岡2-0福島
先鋒 渡部成也(静岡県警察) 組み手争いから帯取返で「有効」、優位に進めながら一瞬を付いて膝車
「一本勝ち」さい先良いスタートとなった。
次鋒 日下徹郎(静岡県警察) お互いの技を掛け合うも有効ポイント

国民体育大会第26回東海ブロック大会柔道競技静岡県選手

少年男子		
監督	宮本昌人	常葉学橋高教員
先鋒	高林裕樹	浜松商業高校
次鋒	関谷真樹	常葉学橋高校
中堅	山本健太	浜松商業高校
副将	内野康太	東海大翔洋高校
大将	三田剛	東海大翔洋高校

少年女子		
監督	沼野由香利	藤枝順心高教員
先鋒	釧持友美	藤枝順心高校
中堅	杉山絵美	市立沼津高校
大将	永田優理子	静岡学園高校

第60回国民体育大会静岡県役員・選手

総監督 山崎 陸雄 医療専門学校講師
 総務 野田 昭一 静岡学園高校教員
 トレーナー 伊藤 武治 浜名高校教員

成年男子

監督 米山安基夫 静岡県警察
 先鋒 渡部 成也 静岡県警察
 次鋒 日下 徹郎 静岡県警察
 中堅 大村 恭一 静岡県警察
 副将 小椋 俊彦 静岡県警察
 大将 齊藤 和仁 静岡県警察

成年女子

監督 渡辺 達也 静岡県警察
 先鋒 望月加奈子 常葉橋高校教員
 中堅 杉山まゆ美 東海大学
 大将 岡田 紘味 三井住友海上火災

静岡県立静岡商業高校出身の岩藤選手が絶対調である。団体戦では、都道府県対抗女子団体戦での全国3位に大きく貢献した。個人でも実業団柔道個人選手権大会女子57kg級で見

岩藤理恵選手

(静岡商業高校卒業、三井住友海上火災所属)

岡田紘味選手

(天竜林業高校卒業、三井住友海上火災所属)

絶対調!!

事優勝を果たした。また、エジプト・カイロで行われた世界選手権国別団体トーナメントに出場し、3位入賞に大きく貢献した。また、静岡県立天竜林業高校を卒業した岡田選手も同様に好調を維持している。

団体戦では、国民体育大会静岡県チームの主力として活躍し、本大会出場を果たし、また都道府県対抗女子団体戦での全国3位に大きく貢献した。個人でも今年度の全日本女子選手権に出場しベスト16に進出したのを皮切りに、実業団柔道個人選手権大会女子78kg級で3位入賞を果たした。そして、ついに念願のビッグタイトルを手に入れた。全日本ジュニア体別別選手権大会女子78kg級で見事頂点に立った。

高柳会長、生涯スポーツ功労者 文部科学大臣表彰受賞



高柳会長が生涯スポーツ功労者文部科学大臣表彰を受賞され、その記念祝賀会が11月6日(日)午後6時30分からオークラクトシティホテル浜松で開催された。浜北市体育協会や浜北スポーツ少年団での貢献、静岡県柔道協会会長として静岡国体柔道競技を成功させた事や静岡県体育協会副会長としての活動が高く評価されての受賞であった。

主催者あいさつに続き、齋藤静岡県体育協会会長の祝辞などがあり、体育協会の関係者や柔道協会の関係者など参加者約180名で高柳会長の受賞をお祝いした。

地元出身の選手としてこれからも岩藤選手と岡田選手の活躍を期待したい。また、次回オリピック出場も十分狙える両者の今後の活躍を注目していきたい。

全国3位入賞!!

岡山大会を振り返って:

監督 伊藤武治

6月18・19日、岡山県武道館におきまして第21回都道府県対抗全日本女子柔道大会が開催され、静岡県チームは第1回大会以来20年ぶり2回目の3位に入賞することができました。予選リーグでは鳥取に4対0、福島に5対0と危なげなく勝利し、決勝トーナメント進出。

決勝トーナメント一回戦、岡山選抜戦は、先鋒(牧田・次鋒(望月)とポイントあげ2勝、中堅(岩藤)相手ポイントゲッターと互角に戦っていたが小外で「効果」を奪われ負け、副将(杉山)攻撃するもポイント取れず「引分け」。大将戦、試合内容によつては敗戦につながる試合で相手も必死で攻撃を仕掛けてきたが、岡田選手は落ち着いて相手の動きを見ながら組際の体落として「二本」。

3対1で勝利を収める。
ベスト4を賭けての準々決勝では先鋒こそ失点したが次鋒から3人が勝ちを収め3対1で京都に勝利することができた。

準決勝は優勝候補の大阪を撃破してきた兵庫県との対戦となった。先鋒(牧田)お互い攻撃を仕掛けるも効果なく一瞬のスキをつかれて寝技に入られ「一本負け」。次鋒(望月)お互い攻撃をするが効果ポイントも無く「引分け」。中堅(岩藤)相手は元

世界選手権チャンピオン・前田選手立ち技では五角の試合であったが寝技(横四方固)で「効果」を奪われ負け。副将(杉山)ここで勝たなければチームは負けになる大事な試合。相手(全日本強化選手)の組み手が強く受け身になってしまい「指導」。

中盤小内刈りで「効果」を奪うが、終始相手のペースで「指導2」により負け。大将戦、チームの勝ちは無くなったものの、積極的に攻撃「指導2」で勝利。1対3で負け。

試合直前にコーチの帯同を許可して頂き、溝口コーチが選手一人一人に声を掛け、投げ込みの受けをしてくれたことが選手にとって大きな自信となり勝因となりました。選手一人一人がもてる力を十二分に発揮し、チーム一丸となつて戦い、このような成績を収めることができ本当にうれしく思います。最後に、このような機会を与えてくれた協会の皆様に感謝致します。



第47回静岡県柔道祭

本年度の柔道祭が5月8日(日)、静岡岡県武道館を会場に行われた。

恒例の柔道協会表彰に続き、優秀選手として春の第27回全国高等学校柔道選手権大会女子70kg級でついに念願の全国チャンピオンになった内之倉奈未さん(磐田東高等学校)と、全国3位に入賞した小田巻美妃さん(静岡商業高等学校)の表彰が行われた。特に内之倉さんは、インターハイ女子個人戦、全国中学校柔道大会で果たせなかった日本一のタイトルをついに手に入れることができた。

その後各会場では熱戦が展開された。各種目の結果は以下の通りである。

柔道協会表彰

特別功労賞

六段 秋山忠七郎

功労賞

六段 竹内紀久夫、赤沢昭則

五段 藤田明啓、杉山哲也

鈴木敏幸

三段 林 昭光、一橋正宏

二段 松田 清

優秀選手

内之倉奈未(磐田東高等学校)

第27回全国高等学校柔道選手権大会女子70kg級 優勝

小田巻美妃(静岡商業高等学校)

第27回全国高等学校柔道選手権大会女子52kg級 第3位

講道館柔道形の部優秀賞

投の形 取四段 根岸一也

受二段 小出浩稚

極の形 取七段 熊谷幸洋

受六段 杉本昌司

柔の形 取六段 一瀬 誠

受六段 竹内紀久夫

古式の形 取七段 和久田守男

受七段 米山安基夫

柔の形 取六段 一瀬 誠

受六段 竹内紀久夫

古式の形 取七段 和久田守男

受七段 米山安基夫

投の形 取四段 根岸一也

受二段 小出浩稚

極の形 取七段 熊谷幸洋

受六段 杉本昌司

柔の形 取六段 一瀬 誠

受六段 竹内紀久夫

古式の形 取七段 和久田守男

受七段 米山安基夫

投の形 取四段 根岸一也

受二段 小出浩稚

極の形 取七段 熊谷幸洋

受六段 杉本昌司

柔の形 取六段 一瀬 誠

受六段 竹内紀久夫

古式の形 取七段 和久田守男

受七段 米山安基夫

投の形 取四段 根岸一也

受二段 小出浩稚

極の形 取七段 熊谷幸洋

受六段 杉本昌司

柔の形 取六段 一瀬 誠

受六段 竹内紀久夫

古式の形 取七段 和久田守男

受七段 米山安基夫

投の形 取四段 根岸一也

受二段 小出浩稚

極の形 取七段 熊谷幸洋

受六段 杉本昌司

試合結果

小学校の部
1位 富士市柔道会

2位 友愛道場

3位 三島柔道会

3位 伊豆長岡柔道会

中学校の部(男子)

1位 東海大学付属翔洋中学校

2位 静岡学園中学校

3位 北浜東部中学校

3位 新居中学校

中学校の部(女子)

1位 北浜東部中学校

2位 市立沼津高校中等部

3位 静岡学園中学校

3位 高山柔道塾

高校の部(男子)

1位 東海大学付属翔洋高校

2位 浜松商業高校

3位 静岡学園高校

3位 天竜林業高校

高校の部(女子)

1位 浜松商業高校

2位 庵原高校

3位 東海大学付属翔洋高校

3位 静岡商業高校

一般の部

1位 総合警備保障浜松

2位 積武館

3位 富士市柔道会

3位 韭山柔道教室

優秀選手

小学校の部 大島遼平(富士市柔道会)、小野千裕(友愛道場)

中学校の部(男子) 川口力弥(東海大学付属翔洋中学校)、高田博文(静岡学園中学校)

中学校の部(女子) 山村瑞葉(北浜東部中学校)、神山結里(市立沼津高校中等部)

高校の部(男子) 岡本国政(東海大学付属翔洋高校)、山本健太(浜松商業高校)

高校の部(女子) 池谷亜梨紗(浜松商業高校)、佐野光希(庵原高校)

一般の部 伊藤洋邦(総合警備保障浜松)、大場章吾(積武館)

第59回静岡県民スポーツ祭柔道競技会

スポーツ祭柔道競技会

今年度の県民スポーツ祭柔道競技が11月13日(日)、静岡県武道館で行われた。最初に柔道協会表彰が行われ、全国大会や国際大会で活躍された1団体(監督1、選手5)と5個人に記念品と賞状が授与された。

続いて、「形」の演技が行われた。

第17回マルちゃん杯 中部少年柔道大会

第17回マルちゃん杯中部少年柔道大会が6月5日(日)に浜北市のグリーンアリーナで開催された。平成13年に第13回大会が浜松市体育館で行われて以来の静岡県での開催であった。

今回から中学女子の部が新設され、小学生の部、中学生男子の部、中学生女子の部の3部門で実施された。1所属1チームの参加に制限されたため、参加チーム数は小学生の部79チーム、中学生男子の部79チーム、中学生女子の部55チームであった。地元静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、石川県、長野県、富山県、福井県、新潟県と中部地区9県の次代を担う若い1300人余りの柔道選手が集まった。

予選リーグを行い、各チーム2回試合を行い、決勝トーナメント進出を競った。中学女子の部の新設もあり、今回から10試合場での実施となったが、熱戦が続き体育館全体が熱気に包まれていた。2階の観客席も保護者やチームの指導者など多くの応援者で埋まり、満員の盛況であった。国体を思い出させるような大きな掛け声が一

日中響いていた。

静岡県選手の主な成績

- 小学生の部
- 第2位 高山柔道塾
- 第3位 富士市柔道会

中学生男子の部

- 第5位 東海大学付属翔洋中学校
- 北浜東部中学校

中学生女子の部

- 第2位 北浜東部中学校
- 第3位 静岡学園中学校

優秀選手

- 小学生の部
- 田中健登・宮川翔伍

(高山柔道塾)

大島遼平(富士市柔道会)

中学生女子の部

- 山村端葉(北浜東部中学校)
- 安間久美子(静岡学園中学校)
- 佐藤五八郎杯

小学生の部

- 田村雅樹(高山柔道塾)
- 中学生男子の部
- 鈴木隼人(北浜東部中学校)
- 中学生女子の部
- 古木里香(北浜東部中学校)

第30回全国教員柔道大会

8月7日(日) 兵庫県立武道館

- 1回戦 静岡県4-1鳥取県
- 2回戦 静岡県3-1大阪府
- 3回戦 静岡県0-4埼玉県

監督 須田 直之(静岡商業高校)

先鋒 佐野 薫(静岡西高校)

次鋒 小塚 直哉(飛龍高校)

中堅 亀尾信太郎(袋井高校)

副将 井口 往彦(横須賀高校)

大将 山崎 大介(富士宮北高校)

東部・中部・西部の小学生各1チームが参加し、投げの形を披露してくれた。その後、各部門の試合が開始され、熱気のもつた試合が各会場で展開された。

柔道協会表彰

優秀選手

- 第21回都道府県対抗全日本女子柔道大会
- 第3位 静岡県チーム

監督 伊藤武治(静岡県立浜名高等学校教諭)

大将 岡田絃味(三井住友海上火災)

副将 杉山まゆ美(東海大学)

中堅 岩藤理恵(三井住友海上火災)

次鋒 望月加奈子(常葉学園橋高等学校教諭)

先鋒 牧田若奈(静岡県警察)

- 第36回全国中学校柔道大会
- 女子70kg級 第3位 山村端葉
- (浜松市立北浜東部中学校)
- 2005年韓国ジュニア国際柔道大会
- 女子70kg級 第3位
- 内之倉奈未(磐田東高校)
- 2005年世界柔道選手権大会
- 国別対抗戦 女子団体第3位
- 岩藤理恵(三井住友海上火災)
- 第8回全日本女子ジュニア柔道体重別選手権大会
- 78kg級優勝 岡田絃味(三井住友海上火災)
- 全国警察柔道選手権大会
- 73kg級第3位 日下徹郎(静岡県警察清水警察署)

試合結果

成年の部(市対抗)

- 1位 総合警備保障浜松
- 2位 静岡産業大学
- 3位 静岡東部柔道クラブ
- 3位 富士宮柔道会

成年の部(町村対抗)

- 1位 相良町体育協会柔道部
- 2位 葦山町柔道教室
- 3位 長泉柔道会
- 3位 小笠柔道クラブ

少年A男子の部(市対抗)

- 1位 東海大学付属翔洋高校
- 2位 天竜林業高校
- 3位 浜松工業高校
- 3位 藤枝明誠高校

少年A男子の部(町村対抗)

- 1位 新居高校
- 2位 田方農業高校
- 3位 小山高校
- 3位 葦山高校

少年A女子の部(市対抗)

- 1位 静岡学園高校
- 2位 藤枝順心高校
- 3位 沼津市立高校
- 3位 浜北西高校

少年A女子の部(町村対抗)

- 1位 庵原高校
- 2位 葦山高校
- 3位 新居高校
- 3位 田方農業高校

少年B男子の部(市対抗)

- 1位 静岡学園中学校
- 2位 育成館道場
- 3位 友愛道場
- 3位 錦田中学校

少年B男子の部(町村対抗)

- 1位 福田柔道クラブ
- 2位 長岡中学校
- 3位 岡部中学校
- 3位 新居中学校

少年B女子の部(市対抗)

- 1位 静岡学園中学校
- 2位 高山柔道塾
- 3位 富士宮第一中学校
- 3位 沼津市立高校中等部

少年B女子の部(町村対抗)

- 1位 新居中学校
- 2位 大仁中学校
- 3位 大井川中学校
- 3位 岡部中学校

少年C(市対抗)

- 1位 三島柔道会
- 2位 友愛道場
- 3位 静岡東部柔道クラブ
- 3位 富士市柔道会

少年C(町村対抗)

- 1位 伊豆長岡柔道会
- 2位 葦山町柔道教室
- 3位 福田柔道クラブ
- 3位 大仁柔道会

形演技者

- 東部地区(神戸館)
- 取 杉本雄輝
- 受 渡辺浩将
- 中部地区(静岡中央柔道クラブ)
- 取 柴田大輝
- 受 鈴木隆太郎
- 西部地区(柔道育成館)
- 取 西畑敬士郎
- 受 本多優介

2005柔道フェスタ開催



ちびっ子柔道家や道場の小学生、部活動の中学生・高校生、付き添いの保護者などが集まり始めた。事前の申し込みシステムにしたが、1000名弱の参加者が集まった。

強くなれたのか。」や、新谷選手に対して「何故、そんなに柔道が好きか。どうして『返し技』を得意にしているのか。」など、子供らしい質問が出された。

最後に、会場設営に協力していただいた地元の高校生や、運営に関係された皆様のご苦勞に心から感謝したい。

開会式に続き、柔道ルネッサンスの説明が静岡大学の田中先生から行われた。続いて、岡泉先生の指導で準備運動や打ち込みが行われ、現役選手に殺到する子供たちのパワーはものすごいものがあつた。柔道教室では、強化選手の得意技解説と乱取りが行われた。棟田選手の大腰の力強さや、内柴選手の背負い投げのスピードに歓声が上がった。

最後に、会場設営に協力していただいた地元の高校生や、運営に関係された皆様のご苦勞に心から感謝したい。



第9回近畿東海ブロック柔道フェスタがジュニアブロック合宿に続いて、10月10日(月・祝)午後1時から静岡県武道館で行われた。ジュニアブロック合宿に続いて、全日本柔道連盟からは細川伸二先生、岡泉茂先生、園田隆二先生が参加され、現役選手としては世界選手権女子無差別級で優勝した新谷翠選手、66kg級準優勝の内柴正人選手、100kg級超級準優勝の棟田康幸選手、女子78kg級の松崎みずほ選手、その他斉藤制剛選手や米富和郎選手、西田優香選手そして地元静岡商業出身の岩藤理恵選手などが参加された。12時ころから

その後、子供たちを多くのグループに分けての乱取り練習が行われたが、ちびっ子柔道家達は指定選手に殺到していき、運悪くあふれた子供は非常に悔しがっていた。また、選手の皆さんも熱心に相手をしてくれ、ときにはきれいに投げられ、子供たちを大いに喜ばしていた。

選手と参加者の触れ合いコーナーでは愉快な質問や珍回答があり、会場を大いに沸かせてくれた。棟田選手に対して「何故

近畿東海ブロック ジュニアブロック 合宿開催

10月7日(金)～10日(月・祝)にかけて静岡県武道館で近畿東海ブロックのジュニアブロック合宿が行われた。全日本柔道連盟からは岡泉茂先生、園田隆二先生、細川伸二先生が担当として参加された。強化指定A選手や指定Bの選手も多く参加し、

余の参加であつた。7日(金)には「アンチ・ドーピング講義」が、海老根東雄先生を講師に迎えて行われた。国際大会を目指す選手にとつて、ドーピングの知識は欠くことができないものとなっている。また、8日(土)には池田高士トレーナーより実践的な「テーピング講義」がなされ、9日(日)には世界柔道選手権で活躍された、新谷選手や内柴選手、棟田選手らの講話が練習の合間を使って行われた。参加した中・高校生は熱心に講師の話しに聞き入っていた。

近畿東海地区の強化指定C、D、Eの選手や、各県から選ばれた選手たちが参加した。また、各県の指導者も参加し、総勢120名

みひとつをとつてもさすがに各県のトップレベルの選手であり、力強さにあふれすばらしいものであつた。乱取りも激しい技の応酬や組み手争いがあり、さすがとならされる場面の連続であつた。また、現役のトップレベルの選手(男子では棟田選手、内柴選手、斉藤選手、米富選手、女子では新谷選手、松崎選手、西田選手、地元静岡出身の岩藤選手など)も多く参加しており、充実した練習であつた。



◆フランス女子ジュニアチームと国際交流

西部地区高校柔道練成会が12月17日(土)、18日(日) 浜北のグリーンアリーナで行われ、県の内外から41校約300人の高校生が参加した。特に、今回は来日中のフランス女子ジュニアのナショナルチームが特別に参加した。アテネ五輪でフランス女子チームのコーチをしていた現静岡文化芸術大学の溝口紀子先生の縁で特別参加が実現した。16歳〜18歳のフランス国内でトップレベルの選手達で、今回14人が来日していた。

さすがにフランスのトップレベルの選手達で、参加した地元女子選手を圧倒していた。しかし、地元選手たちも積極的に挑戦し、中には手ごたえをつかんだ選手もいたことと思う。試合毎に「礼」だけでなく、近寄って握手をするなど「国際交流」を肌で体験していた。

◆静岡県中学校総合体育大会優勝者

男子個人

- 55 kg級 鈴木壮太(浜松西高校)
- 60 kg級 相馬啓敏(三島南中)
- 66 kg級 渡邊 剛(錦田中)
- 73 kg級 堀川達也(新居中)
- 81 kg級 齊藤友保(沼津三中)
- 90 kg級 平井亮輔(東海大付属 翔洋中)
- 90 kg超級 新村三四郎(庄内中)

◆静岡県高等学校総合体育大会柔道競技優勝者

男子個人

- 60 kg級 漆畑良(東海大翔洋)
- 66 kg級 関谷真樹(常葉橘)
- 73 kg級 渡邊拓真(市立沼津)
- 81 kg級 山本健太(浜松商業)
- 90 kg級 木下敦広(浜松商業)
- 100 kg級 内野康太(東海大翔洋)
- 100 kg超級 栗田侑宜(静岡学園)

女子個人

- 48 kg級 釵持友美(藤枝順心)
- 52 kg級 鈴木香澄(浜松商業)
- 57 kg級 神田愛(常葉学園橘)
- 63 kg級 佐野光希(庵原)
- 70 kg級 増田奈美(静岡学園)
- 78 kg級 坂東ちとせ(浜松商業)
- 78 kg超級 足立恵(東海大翔洋)

男子団体戦

- 1位 東海大付属翔洋高校
- 2位 浜松商業高校
- 3位 静岡学園高校
- 3位 市立沼津高校

女子団体戦

- 1位 浜松商業高校
- 2位 静岡学園高校
- 3位 東海大付属翔洋高校
- 3位 静岡商業高校

- 女子団体
- 1位 北浜東部中学校
 - 2位 市立沼津高校中等部
 - 3位 静岡学園中学校
 - 3位 富士宮第一中学校

計 報

講道館柔道七段北澤義隆先生が、去る平成十七年三月二十五日、行年六十九歳をもって逝去されました。

先生は昭和十一年長野県に生まれ、地元の高校を卒業後川崎市へ行かれ、そこで柔道と出会ったそうです。その後昭和三十三年に自衛隊に入隊され、浜松基地に勤務されるようになりました。柔道部の監督として長く浜松基地の柔道部を支え、長年自衛隊武道大会を開催し、また国体選手強化にも尽力されました。

平成元年に自衛隊を退職されてからは、柔道協会の活動だけでなく、地元のママさんバレーや野球指導など地域での指導を熱心に行われていました。平成十年に病に倒れてからは治療に専念されていましたが、浜北国体の時には会場で元気なお顔を見せていただきました。

先生の残された多大の業績を偲び、ご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。 合掌



計 報

講道館柔道五段小山岳先生が、去る平成十七年七月十七日、行年四十一歳をもって逝去されました。

先生は、昭和四十年富士市大淵に生まれ、県立富士東高校から神奈川大学に進学され、柔道部に所属、選手として活躍されておりました。

大学卒業後は、富士市農協に勤務、柔道修行を富士市柔道会にて行い少年部、母校富士東高校への指導にも足を運び、地域への柔道普及活動、青少年健全育成に尽力され、また、東部地区役員としての重責を果しておりました。

平成十五年全国青年大会に出場、平成十六年度全日本柔道「形」競技大会に出場し、六位入賞を果し、まだまだこれから公私とも活躍される先生でしたので残念です。 謹んでその遺徳を偲び、ご冥福をお祈り申し上げます。 合掌



道場紹介

静岡県の柔道を支えてくれているのは、地域に根ざした「道場」である。今回から県内各地でがんばっている「道場」を原則各地区2道場ずつ紹介していく。

- ①名称
- ②住所
- ③連絡先
- ④代表者氏名
- ⑤所属人数



⑥道場紹介
下田柔道会は、昭和17年10月に、前身である賀茂郡有段者会の有志により創立されました。その後、幾多の変遷を経て昭和47年、下田八幡神社境内に85畳の道場を建設し、現在に至っています。平素は週3回稽古し、

下田柔道会

- ②〒415-0021 下田市1丁目5番29号
- ③☎0558-22-4710 (下田柔道会会長宅)
- ④会長 小林 繁雄
- ⑤小学生15人・中学生5人・社会人31人

⑥道場紹介
昭和36年菊池利郎氏によって南崎小学校で練習を行なった事に始まり、現在は南伊豆町武道館において毎週水曜日と金曜日の2回、午後6時30分より行なっている。
練習には、常に出席が多い小学生が中心になり、年中・年長児と共に技に磨きをかけている。

南伊豆柔道会

- ②賀茂郡南伊豆町加納210 黒田方
- ③☎0558-62-1390
- ④黒田 高志
- ⑤常時練習参加者
児童2人 小学生11人内女子2人
中学生6人 社会人6人
(平成17年11月末現在)

冬季・夏季には寒中稽古、暑中稽古を実施し、その都度年2回の進級試合を行い、心身の向上を図っています。創立60年を超える歴史ある道場であり、修行した門下生は3千人にのぼり、全国で活躍しています。道場訓は「円転滑脱」で、決してあきらめない道場精神の修業に日頃から取り組んでおります。

柔道を始めるときつかけは、皆それぞれまちまちであっても、それぞれが柔道を通して礼儀・柔道の基本を重視して健康な身体と強い精神力を培ってほしいとの思いで取り組んでいる。

又、中学生も中学校に柔道部が存在しない為、他の部活動と並行して練習している。現在6人の中学生が在籍しているが、全員黒帯を目ざしている。とにかく、練習に参加している子供達は皆どの子も素直で仲がよく和気藹々と練習にはげんでいる。



⑥道場紹介
ママさん柔道、黒帯六人衆誕生！
毎回見学に来る少年達のお母さんに、呼びかけた事から始まり、毎週土曜日の練習を2年半続け、11月の審査で、6人のママさんが見事に初段を取得しました。ストレス解消、運動不足、瘦身美を求めて、励ましあい明

せいどうかん 焼津誠道館

- ②焼津市西小川3-1-13
- ③☎054-628-4207
- ④福村 忠史
- ⑤児童4人・小学生36人・中学生7人・大学・社会人14人

るく楽しみながら心身を鍛える喜びを実感しました。今年の市民スポーツ祭には、『ママさんの部』で大活躍し話題になりました。焼津市柔道にとつて、強力な理解者であり、既婚者でも、年令にも関係なく、やればできる」ということの実証者であり広告塔であります。

⑥道場紹介

少子化、長引く不況等々、復活の兆しが見えたと言えど厳しい局面を迎えている今日この頃、当塾「柔専塾」は昭和42年清水警察署、清水商業、県立清水工業にて開講以来、入門者二千名以上を教え、地域社会の青少年育成と体育向上に努力してきた。少年非行が叫ばれる社会情勢にあつて、講道館柔道の（知育）（徳育）（体育）の精神の育成を目標とし、文武両立教育と文化をスローガンに、礼法を守り相手の人格を尊重し、友情の絆が結ばれる事を期待し、スポーツマン（社会のチャンピオン）として、社会に貢献できる立派な人物を養成し、後世に伝授していくことを目標としている。

清水柔専塾

- ②静岡市清水区鳥坂1247-57
- ③☎0543-48-4792
- ④川嶋敏秀
- ⑤児童 70人 小学生 7人
高校生 13人 社会人 25人



浜松市スポーツ少年団
柔道育誠館道場

- ②浜松市湖東町1169-178(湖東団地内)
- ③☎053-486-0852 (佐藤館長)
- ④佐藤有宏
- ⑤児童3人 小学生14人 中学生8人
社会人10人



⑥道場紹介

幼児から社会人まで、柔道に親しみながら、技を競う厳しさと礼節を重んじ、友情を育てる大切さを学んでいます。我が身を守る「受身」を通して、強い心身を育てる指導をしています。

第23回全国少年柔道大会では静岡県代表として出場し、ベスト8に輝きました。今年度は、全国小学生学年別柔道大会に1名、全国中学生柔道大会に2名が静岡県代表として出場しました。全国大会への出場を目標に日々、練習に励んでいます。

浜松柔道研究会 浜松養神館

- ②〒432-8023 浜松市鴨江二丁目
3番25号尾高ビル1階
- ③☎053-452-6922・FAX053-452-6923
- ④会長 高柳喜一
理事長 猪又猛
- ⑤(平成17年度全日本柔道連盟登録人員)
児童2人、小学生33人、中学生25人、
高校生5人、大学社会人18人

⑥道場紹介

私たちの浜松養神館は「精神を養う館(ところ)」として昭和5年5月佐藤五八郎先生により設立されて以来、諸先輩方のご尽力により、幾多の変遷を経て現在に至っております。稽古の現状については、毎週日、水、金曜日の3回、午後6時30分から9時まで浜松市武道館において稽古に励んでおります。小中



学生が多く在籍しているため、礼法をはじめとして正しい柔道の修得と、柔道で健康な体と心を養うことに重点を置き、柔道修行に励んでおります。

小学生男女体重別個人試合優勝者	小学生男子-40kg級	松永孝彦 (育誠館道場)
5年男子+40kg級	浅賀慎太郎 (大仁柔道会)	
6年男子-45kg級	宮川翔伍 (高山柔道塾)	
6年男子+45kg級	小澤秀彰 (藤枝柔道倶楽部)	
5年女子-40kg級	小泉香奈 (伊豆長岡柔道会)	
5年女子+40kg級	村山のどか (神土館)	
6年女子-45kg級	片岡まゆ (伊豆長岡柔道会)	
6年女子+45kg級	中村優 (三島柔道会)	

新人選手紹介コーナー

今年度活躍された期待の若い選手を紹介します。今年度も若手選手の活躍状況は、昨年度に続いて完全に女性がリードしていました。3月の第27回全国高等学校柔道選手権大会で磐田東高校の内之倉奈未さんが女子個人70kg級で念願の優勝を果たし、韓国ジュニア選手権大会でも第3位に入賞しました。同じく第27回全国高等学校柔道選手権大会で静岡商業高校の小田巻美妃さんが女子個人52kg級で第3位に入賞しました。また、浜松市立北浜東部中学校の山村端葉さんは8月の第36回全国中学校柔道大会女子-70kg級で第3位に入賞しました。今回は以上の3選手を紹介します。



内之倉奈未さん

内之倉さんは昨年もこのコーナーに登場しています。私立磐田東高校の2年生になりました。昨年は1年生ながら8月のインターハイで準優勝し、次こそは念願の全国制覇を狙っていたのですが、3月の第27回全国高等学校柔道選手権大会でついにその夢をかなえました。また、韓国ジュニア選手権大会という国際大会でも3位入賞という実績を残しました。特に国際大会の入賞については「まだまだ優勝には程遠い3位なので、これからは今回の反省を生かしてがんばっていききたい。」と決意を述べています。また、「少ない柔道部員の中で、自分なりに技術の上達を目指して努力している。」と顧問の原田先生からも評価されています。内之倉さんはオリンピック優勝が大きな目標だっ



小田巻美妃さん

小田巻さんは静岡県立静岡商業高校の3年生です。高校卒業後は短大に進学し、柔道を通して興味を持った「栄養学」を学ぶそうです。柔道を始めたのは、近所の方がお姉さんを柔道に誘ってくれたのについていったことがきっかけだったそうです。全国大会では、「1回戦を勝つことを目指して挑戦者の気持ちで臨み、まさか3位に入賞できるとは思っていなかった。」という感想を述べ、賞状を受け取ったときに「入賞を感謝し、支えてくれた方々への感謝の気持ちで胸がいっぱいだったそうです。」

たはずです。定期的に指導を受けている静岡文化芸術大学の溝口先生の教えを基に、今後のさらなる精進を期待したいと思います。



山村端葉さん

山村さんは現在浜松市立北浜東部中学校の2年生です。柔道を始めたきっかけは「谷(田村)亮子選手にあこがれた」からだそうです。全国大会3位入賞というすばらしい結果を残したの

顧問の須田先生からは「静岡商業高校の柔道に徹して全国3位に入賞したことは見事でした。日々人一倍熱心に練習し、休日には「賤機柔道クラブ」で練習する努力家です。中学時代は無名の選手でも、基本に忠実な練習の積み重ねで全国でも勝てることを示してくれ、後輩に夢を与えてくれました。卒業後は減量経験から興味を持った栄養学を学ぶために進学し、新しい分野に挑戦です。がんばって下さい。」というアドバイスをいただいています。

高校新人柔道大会速報

 ですが、次こそは優勝したいと平成十八年度の中学生最後の試合に大きな夢を抱いています。顧問の筒井先生からは「がんばっています。練習態度も生活態度も大変まじめな生徒です。」とお褒めの言葉をいただいています。まさに文武両道の中学生生活を実践している山村さんのさらなる活躍を期待したいと思います。

男子団体戦 (1月28日)

- 優勝 浜松商業高校
- 第2位 常葉学園橘高校
- 第3位 静岡学園高校
- 第3位 東海大付属翔洋高校

女子団体戦 (1月21日)

- 優勝 庵原高校
- 第2位 東海大付属翔洋高校
- 第3位 市立沼津高校
- 第3位 常葉学園橘高校

優勝チームは第28回全国高等学校柔道選手権大会に出場する。(今年から新人戦が大きく変わり、男女とも従来の個人戦がなくなり団体戦のみとなった。)